

2017 年 7 月 10 日

野村不動産株式会社

株式会社三越伊勢丹ホールディングス

日系デベロッパー・日系小売企業参画によるフィリピン初の複合開発プロジェクト

フィリピンにおける不動産複合開発事業への参画について

野村不動産株式会社（東京都新宿区／代表取締役社長 宮嶋誠一、以下「野村不動産」）と株式会社三越伊勢丹ホールディングス（東京都新宿区／代表取締役社長執行役員・杉江俊彦、以下「三越伊勢丹HDS」）は、フィリピン大手不動産会社の Federal Land Incorporated（以下「Federal Land」）と共同で開発するフィリピン・マニラにおける大型の不動産複合開発案件について、概要が固まったため、フィリピン当局（フィリピン競争委員会：Philippine Competition Commission）への申請を行ったことをお知らせいたします。

3社は、合併会社を設立し、フィリピンのマニラ首都圏にあるボニファシオ・グローバル・シティ（BGC）地区に位置する、Federal Land が開発したグランド・セントラルパーク地域において、分譲住宅及び商業施設の不動産複合開発に共同で取り組んでまいります。

本プロジェクトは、分譲タワーマンション 4 棟と、下層階での商業施設を組み合わせた開発であり、日系デベロッパーと日系小売企業参画によるフィリピンで初めての複合開発プロジェクトになります。

フィリピンの GDP 成長率は、2016 年で 6.8%と高い伸びを示しており、今後も高い成長が見込まれます。中でもこの BGC エリアは、オフィス開発の進むビジネス地区であると同時に高い人口の伸びを示し、住宅需要も高まっている大変有望なエリアととらえています。

野村不動産と三越伊勢丹 HDS は、フィリピン国内にて銀行や不動産開発など多くの事業を手掛ける「GT Capital Holdings」傘下の大手不動産会社 Federal Land と提携することで、フィリピンにて初めての不動産事業に参画いたします。「日本」をコンセプトとした住宅分譲事業及び日本での小売事業のノウハウを活かした商業施設開発を行うことで、フィリピンにおいて上質で新しいライフスタイルの提案をしてまいります。

【計画概要（予定）】

- ・所在地：8th Avenue, 1630, Bonifacio Global City, Taguig City, Metro Manila
- ・敷地面積：約 15,000 m²
- ・延床面積：住宅部分 約 112,000 m²（全 4 棟）、商業施設部分 約 30,000 m²
- ・建物：4 棟（地下 4 階～最高棟地上 51 階）
※住宅部分：地上 8 階～最高棟 51 階 ※商業施設部分：地下 1 階～地上 3 階
- ・総戸数：約 1400 戸

【今後の予定】

- ・2017年夏 不動産開発合弁会社設立
- ・2018年 着工
- ・2020年 商業施設開業予定
- ・2025年 プロジェクト竣工（住宅4棟）予定

【各社概要】

■野村不動産の概要

- ・社名 : 野村不動産株式会社
- ・代表者 : 宮嶋 誠一
- ・資本金 : 20億円（2017年3月31日）
- ・売上高 : 401,451百万円（2017年3月期）
- ・事業内容 : 総合不動産業

■三越伊勢丹 HDS の概要

- ・社名 : 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
- ・代表者 : 杉江 俊彦
- ・資本金 : 503億円（2017年3月31日）
- ・売上高 : 1,253,457百万円（2017年3月期）
- ・事業内容 : 百貨店業等の事業

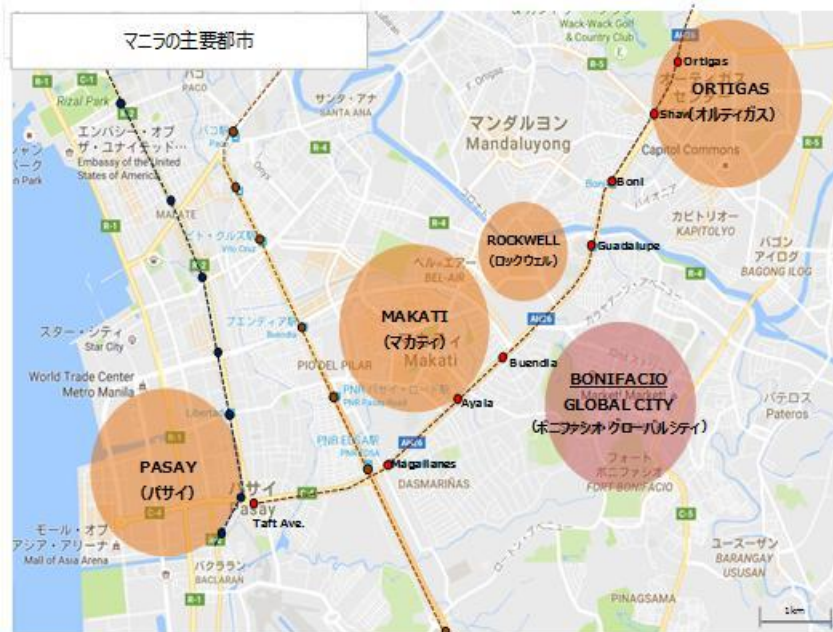
〈7月10日に行われた提携セレモニーの様子〉



左から：代表取締役会長 沓掛英二（野村不動産）、代表取締役社長執行役員 杉江俊彦（三越伊勢丹 HDS）、ジョージ ティ会長（GTCH）、アルフレッド ティ会長（FL）



左から：取締役専務執行役員 松尾琢哉（三越伊勢丹）、執行役員 緒方敦（野村不動産）、パスカル ガルシア社長（FL）、アルフレッド ティ会長（FL）、ラーニ カエタノ タギグ市長、ジョージ ティ会長（GTCH）、サルバドル メディアルディア官房長官、石川和秀駐フィリピン大使、代表取締役会長 沓掛英二（野村不動産）、代表取締役社長執行役員 杉江俊彦（三越伊勢丹 HDS）



<マニラ周辺 MAP>



<イメージ図>